



2020 年 9 月 14 日

アウディ ジャパン株式会社
プレスサイト <http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ 0120 - 598 - 106
アウディ コミュニケーションセンター

SUPER GT 第 4 戦、Audi R8 LMS が 5 位入賞

- #21 Audi Team Hitotsuyama が予選 26 位から追い上げ、5 位でレースをフィニッシュ
- #33 X Works は予選 24 位からのスタートし、着実な走りで 17 位完走を遂げる

アウディ ジャパン株式会社 (本社:東京都品川区、代表取締役社長:フィリップ ノアック) は、Audi R8 LMS で 2020 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦するカスタマー (プライベート) チームをサポートしています。9 月 12 日 (土) ~13 日 (日)、ツインリンクもてぎ (栃木県 1 周 4,801m) で 2020 SUPER GT 第 4 戦となる「MOTEGI GT 300km RACE」が開催されました。

アウディ ジャパンとパートナーシップ契約を締結している#21 Audi Team Hitotsuyama は、今シーズン、ドライバーラインアップ、そしてマシンのカラーリングも新たに赤へと一新。当初、Audi Sport ドライバーであるクリストファー ミース選手と川端 伸太郎選手が組む予定でしたが、新型コロナウイルスの影響によりミース選手の来日がかなわず、今回も近藤 翼選手にステアリングが託されました。

#33 X Works は、昨年の SUPER GT GT300 クラスをはじめ、スーパー耐久にも参戦する香港国籍のレーシングチームです。人気アニメ「エヴァンゲリオン新劇場版」とのプロモーションタイアップにより、エヴァンゲリオン初号機をイメージしたカラーを採用。ドライバーは香港人コンビのショウン トン選手とアレックス アウ選手の組み合わせ。新型コロナウイルスの影響によりアレックス アウ選手が入国できず、代役として第 3 戦に続いて 2018 年シーズンの SUPER GT GT300 クラスに参戦していた木村武史選手がエントリーしました。

土曜日の予選は時おり小雨が降る曇天のもと、気温 25℃、路面温度 29℃とタイヤ選択の難しい状況でのタイムアタックとなりました。参加車両の多い GT300 クラスの予選は、A 組、B 組の 2 つに分かれて行われ、それぞれ Q1 の上位 8 台が Q2 へと進出するノックダウン方式となっています。今大会では、#21 Audi Team Hitotsuyama と #33 X Works の 2 台ともに B 組へと配分。B 組の予選が始まる頃には雨脚が強まっており、開始直後にいきなりコースアウトする車両が出て、予選は赤旗中断となりました。これを機に#21 近藤選手、#33 ショウン トン選手の 2 台の Audi R8 LMS をはじめ、計 6 チームがレインタイヤに履き替えて予選に挑みました。しかし、想定していたほど雨は降らずレインタイヤ勢は苦戦。#21、#33 とともに予選 Q1 を突破できず、#21 Audi Team Hitotsuyama は予選 26 位、#33 X Works は予選 24 位でグリッドに並ぶことになりました。

日曜日午後 1 時、気温 27℃、曇天ながらもドライコンディションで、決勝レースがスタート。#21 Audi Team Hitotsuyama のスタートドライバーは近藤選手がつとめました。冷静にスタートを決めてオープニングラップでポジションを 4 つアップ。途中、多重クラッシュでセーフティカーが入るなどレースは荒れた展開となりましたが、その後も着実に追い上げ 20 周を重ねた頃には、既に 14 位を走行していました。23 周を終えて、第 2 スティントの川端選手へとバトンタッチ。コースに復帰後、川端選手も上位チームに迫るタイムで好走をみせ、次々と上位のマシンを追い抜いていきます。39 周を終えた頃にはついに 10 位入賞圏内を走行していました。ここでふたたびセーフティカーが入る波乱の展開に。レース再開後はコンマ数秒を競う三つ巴のバトルを制し 7 位にまで順位をアップ。そしてファイナルラップで上位 2 台のマシンが燃料切れでコース上にストップ。#21 Audi Team Hitotsuyama は見事に 5 位入賞を果たしました。一方#33 X Works は、スタートドライバーを木村選手がつとめ、スタートポジションをキープしながら約 20 周を走行。第 2 スティントのショウン トン選手へとドライバー交代しました。

ショウン トン選手も着実にラップを重ね、後半にはこの日のチームベストタイムも記録。最終的に 17 位完走となりました。

#21 Audi Team Hitotsuyama チーム代表 一ツ山 亮次氏のコメント

「今日はドライバーもチームもノーミスでいい仕事をして、今シーズンベストの成績をあげることができました。予選 Q1 は少し雨が降っていたこともあり、午前中の練習走行でウェットを経験していた近藤選手に託しました。予選開始直後に赤旗中断となり、雨脚が強くなっていたので、難しい判断でしたがレインタイヤに賭けました。残念ながら予選は 15 台中 13 位で終わりましたが、もてぎは得意なコースでもあり、決勝はあくまでも上位を目指していました。近藤選手もとても調子がよくて、10 位以上ポジションをあげて、さらに前にいけそうでしたが、GT500 クラスのマシンとのラップダウンのタイミングをみて、少し早めにピットインさせました。一方、川端選手もノーミスで最後までとてもいい走りを見せてくれました。次の富士に始まる後半戦にむけて、チーム一丸となってレースに臨みます」

#21 Audi Team Hitotsuyama 川端 伸太郎選手のコメント

「チームみんなの意気込みが感じられたレースでした。ガソリンの量もぎりぎりまで攻めていましたし、ピットワークも素晴らしかったです。近藤選手が前半のペースをしっかりと作ってくれて、タイヤに関する情報も的確に共有してくれたので、最初は抑えながらペースをつくることができました。昨年のチャンピオンカーである 55 号車を追いあげながら、後ろからすごい勢いで迫ってくる 56 号車を抑え込む場面では、今シーズン最も頭を使いました。今日の結果はチーム力によるものだと思います。新チームでようやく調子が上向きになってきましたし、次は表彰台をめざしていきたいと思います」

#21 Audi Team Hitotsuyama 近藤 翼選手のコメント

「予選では雨脚が強くなり非常に難しいタイヤ選択になり、結果的には想定していたほど雨がふらず、残念な結果となりましたが、決勝はブレーキ性能に優れる Audi R8LMS にはチャンスがあると思っていました。実際にレースでもブレーキがよくて、イン側に飛び込んでコーナリングで負けないように踏ん張ってオーバーテイクするシーンが何度もありました。チームの雰囲気もとてもまとまっていたし、着実に走って結果を出すことができ良かったです。GT300 クラスは本当に混戦ですが、こうしてミスをしなくて走ることができれば自ずと結果がついてくると思います。次戦の富士も頑張ります」

アウディ ジャパンは 2016 年来、Audi Sport customer racing パーツトレーラーを全国のサーキットに配備してレースに参戦するカスタマーチームをサポートしています。今年も専用のトレーラーにボディ、トランスミッション、エンジン等、レース車検に適合した約 2,700 アイテム、約 11,000 点の部品を積載し、いかなるレース展開にも対応できるように体制を整えて、SUPER GT、スーパー耐久、および TCR ジャパンに参戦するチームと共に国内外のサーキットを転戦しています。

次戦、SUPER GT 第 5 戦は、10 月 3 日（土）～4 日（日）、富士スピードウェイにて開催予定です。